

令和元年度事業報告書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本データセンター協会

1 事業の成果

今年度の法人の事業は、前年度に引き続き、政府・自治体、関連業界団体、一般企業、学校等へ本法人の趣旨を広報し、賛同・協力を得られるように運動を行った。

具体的には、当協会設立当初から継続しているワーキンググループによる結論をもとに、本法人として対外発表をはじめとする具体的・積極的な活動として、展開を継続して図った。特に本年度はデータセンターの構築、新設時の注意点をまとめて出版、講演等を行った。次世代データセンターの研究会活動、若い世代の育成を図る活動を引き続き強化するとともに、国内業界関係者はもとより、米国、中国、アイスランド等、海外のデータセンター関係者に対する相互交流活動を積極展開した。

わが国のデータセンターの地位を高めるため、市場調査等の活動も引き続き推進した。なお、本年度は設立10周年にあたるため、記念の行事を地方都市でも多数開催し、全国の同業者間のネットワークをより強固なものとした。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
データセンターの国際競争力を確立する事業	東京総会や見本市会場で情報発信し、中国からのゲストを招くなど内外の同業間の交流を深めた。また、国内外にてのWG調査活動、都市部と地方の会員相互間での情報交流及び共有化を通じ情報収集、振興等の整備を継続して行った。	総会は6月、イベントは、10月開催。他の行事は年間を通して実施	理事会、運営委員会、各WG会合、セミナー等で実施の上、インターネット等を活用して公表	約200社	政府、関連団体、一般事業者、海外同業者及び関係機関に対し公表	6,879
データセンターに関する情報収集とその普及・振興・啓発・教育事業	データセンターに関する情報発信活動として、各種イベントでの出展活動、講師派遣、会員用ホームページでの情報提供等を継続実施。 また今年度は関西地区で会員向け、学生向けDC見学会をそれぞれ実施した。	年間を通じて実施	事務局（三菱総合研究所）会議室、見学先のデータセンターなど	約230社	データセンター事業者、利用者、関連事業者、一般など広範に及ぶ	1,244
データセンターの標準化の推進に関わる事業	ファシリテースタンド、環境基準等WGにおいて、東京都環境基準の適合に留意しつつ、関連の国際基準検討の支援、対応、情報収集と発信などを継続して展開した。	年間を通じて実施	事務局（三菱総合研究所）会議室など	約50社	データセンター事業者、利用者、関連事業者など広範に及ぶ	835

データセンターに関する調査、研究開発と技術水準の向上に貢献する事業	市場調査WGの活動により、データセンター業界市場調査を継続実施。また、その他のワーキンググループ活動の成果を業界雑誌等を通じ、本年も継続発信した。	年間を通じて実施	事務局（三菱総合研究所） 会議室など	約120社	データセンター事業者、利用者、関連事業者など広範に及ぶ	2,700
データセンター関連団体との提携促進	引き続き内外関連団体（米国、欧州、中国・アジア等）との情報交流及び開催イベントへの協賛・後援や講演講師派遣等を通じて提携を促進した。 本年は特に中国との相互訪問を実現させた。	年間を通じて実施	事務局（三菱総合研究所） 会議室、関連団体会議室など	約80社	データセンター事業者、利用者、関連事業者など広範に及ぶ	55

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費の金額 (千円)
出版事業	サーバ室ガイドブックをPDFおよび紙媒体で発売。ファシリテスタンダード、PUE測定方法などの内容をネットを通じて継続販売した。	年間を通じて実施	事務局（三菱総合研究所）	約100社	-800
人材研修事業	（レベル3研修）人材マネジメントWGで開発した研修プログラムを、会員企業向けに5か月のセッション×1回を実施した。	研修会合は主として11～3月に実施	研修会社施設 D C 見学他	約30社	-1,470